



映画「バズ・ライトイヤー」が公開中

あきらめない主人公に共感

映画「トイ・ストーリー」シリーズに登場したおもちゃのバズのルーツが明らかになる「バズ・ライトイヤー」が公開中です。不時着した惑星から帰還するため、スペース・レンジャーのバズが何度も危険な航行に挑戦する物語です。人工衛星「まいど1号」を開発した宇宙開発協同組合SOHLAの理事長・榎本日出夫さんは「あきらめないというバズの強い気持ちに共感しました」と、自身の経験を重ね、映画の面白さを語りました。



「バズ・ライトイヤー」の物語を通して、宇宙の面白さを語る榎本さん

宇宙開発協同組合SOHLA理事長 榎本日出夫さんに聞く

映画は壮大な宇宙が舞台です。有能なスペース・レンジャーのバズは、自分の力を過信したために、1200人もの乗組員と共に危険な惑星に不時着。全員を地球に帰還させるため、ネコ型のロボット・ソックスと危険な航行に何度も挑み

ます。62年以上もの年月がたち孤独となる中、彼を支えたのは、亡き親友の孫イジーらジュニア・パトロール隊員でした。迫力ある映像に魅了されたという榎本さん。「まいど1号」は、ものづくりの町として知られる東大阪

の町工場が、技術を結集させて開発しました。榎本さんは「バズには人を引っ張る力があり、僕には宇宙航空研究開発機構(JAXA)のように見えました。一方、僕たちはイジーのような存在。イジーたちはやがてバズの協力者となりますが、最初は失敗ばかり。僕たちも小型の人工衛星に挑戦しましたが、意気込みはあるけど空回りもしています」と振り返ります。



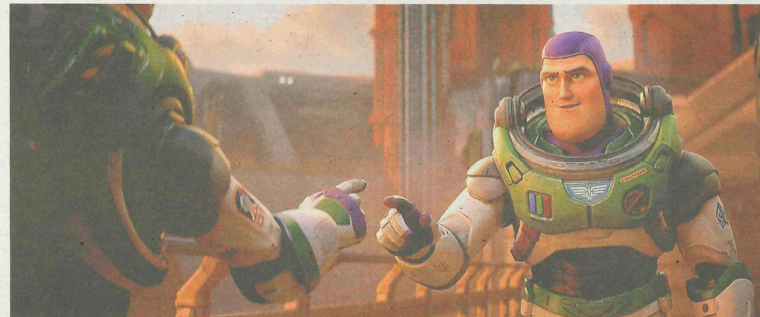
のある放射線や強い光が降り注ぐため、宇宙服やヘルメットで身を守ります。「実際に着ると動きにくく、バズが宇宙服姿で軽々動いているのはすごいこと」と解説します。

また映画の終盤で、イジーが宇宙空間を浮遊するシーンには、緊張感に包まれます。「宇宙は無重力で抵抗がないので、少し押すだけで永遠に飛んでいきま

す。二度と帰ってこれず、とても怖いことなんです。それを知っていると、イジーの気持ちがより理解できると思いますよ」

腕時計をプレゼント

「バズ・ライトイヤー」の腕時計を抽選で2人にプレゼントします。ご希望の方は24日までに住所、氏名、年齢、電話番号を書いて、電子メール kouryu-s@mb.kyoto-np.co.jp 京都新聞社読者交流センター「バズ・ライトイヤー 腕時計プレゼント係」へ。はがきでの受け付けはしていません。当選発表は発送をもってかえさせていただきます。



「バズ・ライトイヤー」全国劇場公開中

© 2022 Disney/Pixar. All Rights Reserved.